

一會社ハ二月十三日各坑夫ニ對シテ際ニ此業ニキ
コ勸誘シ若シ休業ヲ繼續スルニ於テ解雇シ
トスニ至ルヘキヲ警告セリ

一是ヨリ先キ麻生ハ十三日霜夕ト曰ハシテ此業ハ
四番ニ出頭シ仲裁方ヲ訊別シ傭ニ坑夫等ノ器物
トク新フル取アリ又十三日坂ニ四半身分四番ニ出
頭シ麻生ト曰保ノ口吻ヲ強シタリ去シバ曰下支
渉ノ是矣ト曰スヘキ事項ハ會社カ何レノ刃
裁昔同題ヲ看過スルヤ否ハ占ハニ屬シ麻生等
ハ此同題ニテ一氣認リ得バ氣服シ肯スルモ
如ク人會社ニ於テ元彼等ノ衷情ヲ察セズルヤノ
模標アリ

一麻生坂ニ兩名ハ二月十六日高木支店長ノ
親致ヨリオ二回ノ會見ヲナシ十四日麻生ヨリ申
出ニ係ルハ今回ノ事件ニ關シ圖傳者ノ責任ヲ問
ハルルハ一圖シテリ支店長ハ今後労働者ニ於
テ穩ヤニ執業スルニ於テハ責任ヲ問ハサルヘシ
トノ宣明ヲ求ヘ麻生ハ先キニ提出シタル其他ノ
要求條件ニ關シテ高木支店長アリタリト述ヘ支
店長ハ即答ヲ避ケ高木支店長ハ信用シテ歸
業セラレタリト希望シテハ會見ヲ了ハレリ
一十七日午後七時ヨリ一段ノ谷所在支店ニ於テ麻
生坂及兩名ハ北海タイムス、カ樽新聞、新カ樽、
三新聞記者立會上高木支店長トオ三回ノ會
見ヲナシ支店長ヨリ左ノ回答ヲ得タリ